

全麵協通信

発行：全麵協
(一般社団法人)
広報渉外部
東京都千代田
区神田神保町
03(3512)7112

第7回 定時社員総会開催

6月21日(日)午後2時から、研修センター(東京都台東区)にて、第7回定時社員総会を開催しました。

定時総会の開催にあたり中谷理事長は「コロナ禍の影響で、委任状の開催になった事を理解をいただきたい。令和元年度事業は順調に遂行され、1月には六段位認定審査会が開催されたが、その後は新型コロナ禍の影響で、殆どの事業は中止・



延期せざるを得なかった。令和2年度は、新たな「5

支部体制」で諸事業を策定したが、多くは凍結状態にある。先の見えない前例のない状況ではあるが、本日の総会はこの苦境を乗り越える覚悟をもって臨みたいと思うので、会員皆様のご支援・ご協力をお願いしたい。』とあいさつしました。

「緊急事態宣言」が解除されたものの、首都圏や大都市を中心に感染者が発生して、感染危機が強く残る中を、正副理事長はじめ専務理事、事務局長、本部事務局員が会場の研修センターに参集して、会場設営、運営準備などを行って総会を開催しました。出席が出来

ない理事は「テレビ会議」で参加して、総会運営の様子を静かに見守りました。土屋照雄さん(首都圏支部・江戸流手打ち蕎麦二八の会)を議長に選出し、提出された議案は原案通り決議されました。

※定時総会の議事録・写真はホームページで掲載中!

全麵協基本方針・要旨

全麵協は法人化されて6年目に入り、社会的にも認知度が高まりつつある。令和時代にマッチした新基軸を打ち出して行く必要がある。全麵協のさらなる躍進を期すため5年後(令和7年)には、「そば道」を国

「そば道段位認定会」の開催は?

新型コロナウイルス感染拡大を防止のため、全麵協活動は自粛せざるを得ない状況に置かれています。

全国に発令されていた緊急事態宣言は5月下旬に解除され、徐々に社会活動が開始されています。しかし、

民に周知させることを目標に掲げる。

これを実現させるため、5年後の「そば道段位認定制度」(段位認定者数を2万人に、全麵協個人会員・特別個人会員の合計数を7千人に達成させることとする。

正副理事長の顔ぶれ

定時総会で「役員選任」を決議した後に、テレビ会議によって理事会を開催した(敬称略)。理事長・中谷信一(富山県) 副理事長・板倉敏和(東京都) 山本剛(岡山県) 加藤 憲(埼玉県) 任期は、令和2〜3年度。

「全麵協通信」創刊の目的と配布のお願い

定しました。しかし、初々三段位「そば道段位認定会」開催に向けてガイドラインを作成しています。ガイドラインは3密を避けるなど、段位認定会では絶対にクラスターを発生させないなどの目的で作成するものです。感染を防ぐための開催条件・環境など、段位認定会を開催運営する必要不可欠な要件を全国統一して示すもので、全国認定会専門チームが7月中の完成を目指して作成作業を進めています。段位認定会ガイドラインが完成しましたら、その概要をホームページや全麵協通信にて掲載します。

首都圏を中心に感染者が発生して、予断を許さない状況が今なお続いています。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐには、「3密」を避けることが基本です。四・五段位認定会は受験者が広範囲のため、中止を決

「コロナ禍」の中、早く会員に全麵協本部の情報を伝えたいと「全麵協通信」を創刊しました。支部・広報担当者を通じて所属会員にメール送信します。全麵協個人会員にメール送信、またはプリントして配布していただくようお願いいたします。